

第3問 場合の数・確率

袋の中の球をすべて区別する。

- (1) 袋の中から球を1個取り出す方法は4通りあり、これらはすべて同様に確からしい。

取り出した球が赤球である確率は、

$$\frac{\boxed{3}}{\boxed{4}}$$

である。

取り出した球が白球である確率は、

$$\frac{\boxed{1}}{\boxed{4}}$$

である。

- (2) ★が1つ書かれた赤球を $\boxed{R\star}$ ，★が1つ書かれた白球を $\boxed{W\star}$ ，★が2つ書かれた白球を $\boxed{W\star\star}$ と表す。

袋の中に $\boxed{W\star\star}$ があるのは、

1回目、2回目ともに白球を取り出すとき

であるから、その確率は、

$$\frac{1}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{\boxed{1}}{\boxed{16}}$$

である。

袋の中に2個の $\boxed{R\star}$ があるのは、

1回目に赤球を取り出し、2回目に1

回目とは異なる赤球を取り出すとき

であるから、その確率は、

$$\frac{3}{4} \times \frac{2}{4} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{8}}$$

である。

袋の中に $\boxed{W\star}$ があるような球の取り出し方は、

(i) 1回目に白球、2回目に赤球を取り出すとき

(ii) 1回目に赤球、2回目に白球を取り出すとき

の2つの場合がある。

よって、その確率は、

$$\frac{1}{4} \times \frac{3}{4} + \frac{3}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{8}}$$

である。

← 赤球の取り出し方は3通りある。

← 1回目はどの赤球でもよいから3通り、
2回目は1回目とは異なる赤球であるから2通りの球の取り出し方がある。

- (3) ★が1つ書かれた赤球を $\boxed{R\star}$, ★が2つ書かれた赤球を $\boxed{R\star\star}$, ★が3つ書かれた赤球を $\boxed{R\star\star\star}$, ★が1つも書かれていない赤球を $\boxed{R}$, ★が1つ書かれた白球を $\boxed{W\star}$, ★が1つも書かれていない白球を $\boxed{W}$ と表す。

3回目の球の取り出し方は ${}_4C_2$ 通りあり、これらはすべて同様に確からしい。

3回取り出した後に4個の球すべてに「★」が1つずつ書かれているのは、袋の中の4個の球が

$\boxed{R\star}$, $\boxed{R\star}$, $\boxed{R\star}$, $\boxed{W\star}$

となる場合である。

1回目はどの球を取り出してもよいから4通り、2回目は1回目に取り出した球以外の球を取り出すから3通りの球の取り出し方がある。

さらに、3回目は1, 2回目で取り出さなかった2個の球を取り出すから、 ${}_2C_2$ 通りの球の取り出し方がある。

よって、4個の球すべてに「★」が1つずつ書かれている確率は、

$$\frac{4}{4} \times \frac{3}{4} \times \frac{{}_2C_2}{{}_4C_2} = \frac{1}{8}$$

である。

3回取り出した後に3個の赤球に書かれている「★」の個数がすべて異なるのは、袋の中の4個の球が、

(I) $\boxed{R\star\star\star}$, $\boxed{R\star}$, $\boxed{R}$, $\boxed{W}$

(II) $\boxed{R\star\star}$, $\boxed{R\star}$, $\boxed{R}$, $\boxed{W\star}$

のどちらかになる場合である。

ここで、3個の赤球を $R1$, $R2$, $R3$ とし、1個の白球を W とする。

(I) のとき、

$\boxed{R\star\star\star}$ となる赤球の決め方は3通り、 $\boxed{R\star}$ となる赤球の決め方は2通りあるから、4個の球の決め方は、

$$3 \times 2 = 6 \text{ (通り)}$$

ある。

その各々に対して、例えば、 $R3$ を $\boxed{R\star\star\star}$, $R1$ を $\boxed{R\star}$ とすると、条件を満たす球の取り出し方は、次のようになる。

回	1回目	2回目	3回目
取り出される球	$R3$	$R3$	$R3, R1$

したがって、(I) の確率は、

$$6 \times \left(\frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{{}_4C_2} \right) = \frac{1}{16}$$

である。

1回目、2回目に $R3$ を取り出す確率はそれぞれ $\frac{1}{4}$ である。

3回目に $R3, R1$ を取り出す確率は、

$$\frac{1}{{}_4C_2}$$

である。

(II) のとき.

$\boxed{R\star\star}$ となる赤球の決め方は 3 通り, $\boxed{R\star}$ となる赤球の決め方は 2 通りあるから, 4 個の球の決め方は,

$$3 \times 2 = 6 \text{ (通り)}$$

ある.

その各々に対して, 例えば, R2 を $\boxed{R\star\star}$, R1 を $\boxed{R\star}$ とすると, 条件を満たす球の取り出し方は, 次のようになる.

回	1 回目	2 回目	3 回目
取り出される球	R2	R2	R1, W
	R2	R1	R2, W
	R2	W	R2, R1
	R1	R2	R2, W
	W	R2	R2, R1

したがって, (II) の確率は,

$$\begin{aligned} & 6 \times \left(\frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4C_2} + \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4C_2} + \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4C_2} \right. \\ & \quad \left. + \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4C_2} + \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{4C_2} \right) \\ &= 6 \times \left(\frac{1}{96} + \frac{1}{96} + \frac{1}{96} + \frac{1}{96} + \frac{1}{96} \right) \\ &= \frac{5}{16} \end{aligned}$$

である.

(I), (II) より, 3 個の赤球に書かれている「 $\star$ 」の個数がすべて異なる確率は,

$$\frac{1}{16} + \frac{5}{16} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{8}}$$

である.